

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Carpet Pro RM760 tablet  
 会社名 : ケルヒージャパン株式会社  
 住所 : 〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平3-2  
 担当部門 : サービス部  
                   電話番号 : 022-344-3140      FAX番号 : 022-344-3141  
 緊急連絡電話番号 : 022-344-3140 (ケルヒージャパン(株) サービス部)  
 整理番号 : RM760 5.1  
 推奨用途及び使用上の制限 : カーペットの洗浄

## 2. 危険有害性の要約

## 【GHS分類】

物理化学的危険性	: 可燃性固体	: 分類できない
健康有害性	: 急性毒性 経口	: 区分4
	経皮	: 分類できない
	吸入(ミスト)	: 区分4
	皮膚腐食性及び刺激性	: 区分1
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分1
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分2 (腎臓)
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境有害性	: 水生環境有害性(急性)	: 分類できない
	水生環境有害性(長期間)	: 分類できない
	オゾン層への有害性	: 分類できない

## 【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル:



注意喚起語 : 危険  
 危険有害性情報 :
 

- ・飲み込むと有害
- ・吸入すると有害(ミスト)
- ・重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
- ・重篤な眼の損傷
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・眠気又はめまいのおそれ
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(腎臓)の障害のおそれ

## 2. 危険有害性の要約(続き)

注意書き：

- [安全対策]
- ・ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
  - ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
  - ・取扱後は手をよく洗うこと。
  - ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
  - ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
  - ・使用前に取扱説明書を入手すること。
  - ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- [応急措置]
- ・飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
  - ・口をすすぐこと。
  - ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
  - ・気分が悪いときは医師に連絡すること。
  - ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
  - ・皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
  - ・汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯をすること。
  - ・直ちに医師に連絡すること。
  - ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
  - ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- [保管]
- ・施錠して保管すること。
  - ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- [廃棄]
- ・内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：

成分	濃度範囲(%)	CAS No.
炭酸ナトリウム	25～50	497-19-8
クエン酸	>20	77-92-9
シュウ酸	2.5～10	144-62-7
エトキシ化アルコール(C <sub>9-11</sub> )	<2.5	68439-46-3
その他	5.0～15	非開示

## 4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動させ、体を毛布等で覆って保温し安静に保つ。呼吸困難に陥った場合は、衣類を緩め気道を確保した上で、酸素吸入あるいは人工呼吸を施し、直ちに医療措置を受ける。気分が悪い時は医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。付着した部分は流水と石けんを用いてよく洗い落とす。直ちに医師の診察を受ける。

眼に入った場合：清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開き、眼球のすみずみまでよく水が行きわたるように眼を上下左右に動かす。

飲み込んだ場合：無理に吐かせてはならない。水で口の中をすすぎ、直ちに医療措置を受ける。嘔吐が自然に起こった場合は、気管に入らないように身体を傾ける。

## 5. 火災時の措置

消火剤：炭酸ガス、泡、粉末、散水または水噴霧、乾燥砂

使ってはならない消火剤：強力な棒状注水は火災を拡大させる可能性がある。

特有の消火方法：・初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。

・大規模火災の場合は、泡消火剤で空気を遮断し、一気に消火する。

・周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却する。

移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

・消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。

消火を行う者の保護：有毒なガス（一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等）が発生する可能性がある  
あるので、消火作業は必ず自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

・漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

・回収作業の際には必ず保護具を着用し、粉じんの吸入及び眼、皮膚、衣服への付着を避ける。

・風下で回収作業をしてはならない。

環境に対する注意事項：

・大気中への飛散、土壌への浸入、下水、河川、排水溝等への流出を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

・付近の着火源となるものを取り除き、火災発生の防止に努める。

・少量の場合は、飛散しないように注意しながら、ほうきで掃き集める。

・多量の場合は、シートで表面を覆い、飛散を防止した後、防爆型の掃除機または集じん装置を用いて吸引するか、霧状水を散水し汚泥化した後、シャベル等で回収する。

・回収物は「廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：・粉じんの吸入及び皮膚との接触は極力避ける。

・ばく露のおそれがある場合には、適切な保護具を着用する。

・作業後は石けんを用いて手洗いや洗顔を励行する。

保管：・直射日光及び高温を避け、乾燥した換気のよい冷暗所に保存する。

・施錠をして管理すること。

・強酸化剤、強酸、金属類から離して保管する。

・容器材質：ポリエチレン

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：設備/装置全体を密閉化するか、局所排気装置を設置する。

取扱い場所近くに、洗眼器及び身体洗浄シャワーを設置する。

状況に応じて、可燃性ガス・有毒ガス測定器、可燃性ガス警報器を設置する。

管理濃度：作業環境評価基準：設定なし

許容濃度：日本産業衛生学会(2014年)<sup>1)</sup>：設定なし

ACGIH-TLV (2014年)<sup>2)</sup>：(TWA)1 mg/m<sup>3</sup> (STEL)2 mg/m<sup>3</sup>(シュウ酸)

注)(TWA)：時間加重平均値(8時間)、(STEL)：短時間ばく露許容濃度

保護具：

呼吸用保護具：防じんマスク(DS1、DS2、DS3、RS1、RS2、RS3)、送気マスク、空気呼吸器等  
手の保護具：耐油性(不浸透性)の手袋

眼の保護具：保護眼鏡又は防災面

皮膚及び身体の保護具：長靴、前掛け、保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

外 観：無色固体  
 臭 い：特異臭  
 沸 点：データなし  
 引 火 点：データなし  
 燃焼又は爆発範囲の上限・下限：データなし  
 蒸 気 圧：データなし  
 密 度：0.89 g/cm<sup>3</sup> (20℃)  
 発 火 点：>100 ℃  
 溶 解 性：水に溶解

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性：通常の取扱い条件においては安定  
 危険有害反応可能性：酸、マグネシウム、五酸化リン、強酸化剤、強塩基、金属硝酸塩、金属と反応するおそれがある。  
 危険有害な分解生成物：燃焼により有毒ガス(一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等)が発生することがある。

## 11. 有害性情報

急性毒性：粉じんを吸入した場合、咳、咽頭痛等を引き起こすおそれがある。  
 飲み込んだ場合、吐き気、腹痛を引き起こすおそれがある。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：

製品は腐食を伴う重度の皮膚刺激性を引き起こすおそれがある。  
 炭酸ナトリウムはウキ<sup>®</sup>を用いた皮膚刺激性試験において陰性を示した。<sup>4)</sup>  
 シュウ酸及びその他は皮膚において腐食を伴う刺激性を示した。<sup>4)</sup>

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：

製品は腐食を伴う重度の眼刺激性を生じるおそれがある。  
 炭酸ナトリウム及びシュウ酸、その他は眼刺激性試験において腐食を伴う重度の刺激性を示した。<sup>4)</sup>

呼吸器感作性：データなし

皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

## 11. 有害性情報(続き)

発がん性：データなし

生殖毒性：シュウ酸は、親動物への影響が不明な条件下で同腹仔数の減少が報告されている。<sup>4)</sup>

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：<sup>4)</sup>

炭酸ナトリウム	： 呼吸器を刺激するおそれがある。 麻酔作用により眠気又はめまいのおそれがある。
シュウ酸	： 呼吸器への障害のおそれがある。
その他	： 神経系への障害のおそれがある。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：<sup>4)</sup>

シュウ酸	： 腎臓への障害が報告されている。
------	-------------------

吸引性呼吸器有害性：データなし

その他の情報：特になし

## 12. 環境影響情報

分 解 性：シュウ酸は急速分解性がある。<sup>4)</sup>

生物蓄積性：シュウ酸は生物蓄積性が低い。<sup>4)</sup>

生態毒性：炭酸ナトリウムは水生生物への有害性は低い。<sup>4)</sup>

オゾン層への有害性：データなし

### 1 3. 廃棄上の注意

- ・ 残余廃棄物を焼却する場合は、集塵装置を備えた焼却炉で焼却する。
- ・ 焼却灰は法規に従って処理する。
- ・ 多量の場合は認可を受けた専門業者に委託する。
- ・ 汚染容器及び包装は、付着物を完全に除去した後に処分する。
- ・ 関係法令を遵守し、自治体の指示に従う。

### 1 4. 輸送上の注意

国連分類：8(腐食性物質)

国連番号：1759 (その他の腐食性固体、他に品名が明示されていないもの)

容器等級：PG-III

応急措置指針番号：154

海洋汚染物質：該当しない

- ・ 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書（レターカード）を渡す。
- ・ 容器の破損、洩れ、栓の閉まり具合を確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
- ・ 積み下ろし作業の際は、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、車止めを施す。
- ・ 消防法、その他輸送関係法規を厳守する。

### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物(しゅう酸)

毒物及び劇物取締法：劇物(しゅう酸) ※但し規制値未満のため該当しない。

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：非該当

船舶安全法：危規則 腐食性物質

港則法：危険物 腐食性物質

航空法：危険物 腐食性物質

### 1 6. その他の情報

引用文献：

- 1) 「許容濃度等の勧告(2014年度)」；産衛誌 56巻, P162
- 2) Guide to Occupational Exposure Values (ACGIH 2014)
- 3) 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 (国立医薬品食品衛生研究所(NIHS))
- 4) GHS分類結果データベース (独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
- 5) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances. (CCOHS)

記載内容の問合せ先：ケルヒージャパン株式会社(サービス部)

電話番号：022-344-3140(ダイヤル)

ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。必要かつ安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。

なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうることをご承知下さい。